

第12回 三浦半島縦断トレイルラン大会

大会実施要項

2022年01月07日版

- 開催日： 2022年3月26日(土) 雨天決行、但し豪雨中止
(前日午前11時天気予報、降水確率70%以上且つ降水量20mm/h以上で中止)
- 開催地： 神奈川県 Aコース・スタート地点：三浦海岸浜辺・琴音バス停際
Bコース・スタート地点：京急田浦駅5分・船越1丁目公園、
- 主催：NPO法人野外活動・自然体験・推進事業団
共催：湘南八景自治会、港ヶ丘自治会、田浦3丁目自治会、田浦2・泉自治会、
主管：三浦半島縦断トレイルラン大会実行委員会
- 競技種目：トレイルランニング競技、
Aコース38.5km(約24mile) 制限時間：9時間、
Bコース14.5km(約9mile) 制限時間：4時間、
- 参加資格：
 - ① ルールを守り、自己責任で対処できる人。
 - ② 規定ルートを辿り制限時間内に完走の自信がある人。
 - ③ 大会当日において満18歳以下の参加者は保護者の承諾書を提出。
 - ④ Aコースは25km、Bコースは8km以上のトレイル、山岳マラソンの経験者。
 - ⑤ 大会中の事故等全て自己責任の原則に則る誓約書を提出し大会規則を遵守。
- 必須装備品：水500ml以上、行動食、雨具(防寒具)、磁石、地図、夜間照明、手袋、
携帯電話、筆記用具、小銭等。(その他本人が必要とする物)
- 参加料： 個人： Aコース 38.5km(約24mile) 8000円、
Bコース 14.5km(約9mile) 4000円、
- 締切日： 2022年03月05日(土)
- 受付時間： Aコース： 6:40～7:40 三浦海岸浜辺・琴音バス停脇駐車場、
Bコース： 9:40～10:40 京急田浦駅5分、船越1丁目公園脇、
- 更衣室：Aコース：更衣室(民宿魚萬1階玄関の右側宴会場が男子、左側1階奥が女子)
で着替えをして、ゼッケンを着け、受付で記入した「誓約書」と提出し「SIチップ」
を受取り、荷物は琴音バス停脇駐車場のトラックに積み込むこと。
(民宿魚萬所在地：三浦市南下浦町上宮田3530、tel:046-888-0719、)
京急三浦海岸駅下車、徒歩8分、バス停「琴音」前、魚萬使用時間6:00～8:00
Bコース： 船越1丁目公園内、更衣テント(京急田浦駅前徒歩5分)
- 荷物預け場所：Aコース：琴音バス停脇駐車場のトラック、
Bコース：船越1丁目公園横のトラック
- 受付場所：Aコース：琴音バス停脇駐車場、 6:50～7:50 AM
Bコース：京急田浦駅5分、船越1丁目公園横、9:50～10:50 AM
(住所：横須賀市船越1丁目11番地)
- 開会式：Aコース：7:40～7:55 琴音バス停前浜(準備体操&連絡事項)
Bコース：10:40～10:55 船越1丁目公園(準備体操&連絡事項)
- スタート時間：Aコース：8:00～(ウエーブスタート)
スタート場所 三浦海岸・琴音バス停際 砂浜、
Bコース：11:00～ 船越1丁目公園(ウエーブスタート)、
スタート場所 船越1丁目公園、(交通アクセス：京急田浦駅歩5分)
- Aコースゴール地点：六浦大道公園：横浜市金沢区東朝比奈1丁目26番地、
(着替荷物引渡場所) 制限時間：スタート後9時間(17:00)
- Bコースゴール地点：六浦大道公園：横浜市金沢区東朝比奈1丁目26番地、
(着替荷物引渡場所) 制限時間：スタート後4時間(15:00)
- Aコース概要：三浦海岸(0m)→津久井浜(0m)→三浦富士→武山(200m)→光の丘
→山科台→大楠山(241m)→不動橋→塚山公園→池の谷戸公園→船越3丁目
→鷹取山→東朝比奈公園→六浦大道公園、
- Bコース概要：船越1丁目公園→船越3丁目→鷹取山→東朝比奈公園→六浦大道公園、

- 19、表彰式： A・B コース共コロナ禍三密回避で中止、結果は各自自宅に郵送、HP 掲載、男女別総合 1～5 位、年代別 1～5 位、後日郵送となります。
- 20、表彰対象 ① 男女別総合 1 位～第 5 位 表彰状と記念品（トロフィ/盾等）を授与。
② 男女年代別（20 代～70 代）1～5 位までに表彰状を授与。
- 21、参加申込先： インターネットエントリーサイト-「URL：<http://runnet.jp/>」
当団体ホームページ「URL：<http://www.npo-outdoor.com>」
締切日：2021 年 03 月 05 日（締切済）、
- 22、完走認定証： 制限時間をクリアし、コース上の全 CP を通過し、ゴールした人には完走証を授与します。完走証は後日郵送します。
- 23、競技方法： ウェーブスタート方式とし、定められたチェックポイント・コースを辿るタイムレース方式とします。（所要時間の少ないランナーから順位を決定します）
- 24、制限時間： それぞれの関門に制限時間を設けています、これを超えた選手はレースを中止し、所定の手順に従って下山して下さい。
※ リタイアした際は所持しているゼッケン番号と氏名を本部に知らせること。
- 25、チェックポイント（CP）& 関門
- | | | |
|-------------|---------------|-----------------------------------|
| A コース・スタート： | 三浦海岸 琴音バス停前浜辺 | (8 : 00) |
| | CP-1： | 津久井浜 派出所前交差点際（浜辺） |
| | CP-2： | 武山頂上(約 7Km) グリーンハイツ径由、 |
| 第 1 関門： | CP-3： | 光ヶ丘第 2 公園 (約 10Km) (10:00)、 |
| | CP-4： | 大田和信号際(約 14 Km)、 |
| | CP-5： | 大楠山頂上(約 18Km) |
| 第 2 関門： | CP-6： | 不動橋(木古庭公園) Aid① (約 20Km) (13:00)、 |
| | CP-7： | 池の谷戸公園 (約 23Km) |
| | CP-8： | 船越 3 丁目バス停際(約 26Km)、 (14:00)、 |
| 第 3 関門： | CP-9： | 鷹取山頂上(約 30Km) (15:00)、 |
| | CP-10： | 東朝比奈公園(約 33Km) (16:00)、 |
| A ゴール： | CP-11： | 六浦大道公園(約 38.5km) Aid② (17:00)、 |
- B コース・スタート： 船越 1 丁目公園 11 : 00
- B コース・ゴール： 六浦大道公園 ゴール後 Aid② (約 14.5km) 15 : 00
- A コースは CP1～CP10、までの 10ヶ所の CP 通過を必要とします。
B コースは CP8～CP10、までの 3ヶ所の通過を必要とします。
A/B 共「六浦大道公園」が着替手荷物受取場所です。
- 26、水場：1) 三浦海岸 2) 武山 3) ゴミ処理施設前 4) 大楠売店 5) 木古庭公園 (Aid)、
6) 池の谷戸公園 7) 鷹取山 8) 東朝比奈公園 9) 六浦大道公園 (Aid)
- 27、便所：1) 三浦海岸 2) 武山 3) ゴミ処理施設前 4) 大楠山 5) 木古庭公園
6) 池の谷戸公園 7) 鷹取山 8) 八景苑（霊園） 9) 六浦大道公園
- 28、水食補給：Aid①木古庭公園、Aid②六浦大道公園
- 29、計測方法：SI システムで計測。
走者は SI カードでパンチしゼッケンを提示して通過。
- 30、最低実施人数 200 名、参加賞：未定
- 31、コース案内：誘導テープ：50 x 7cm（赤白縞：進め、青黄縞：戻れ）
誘導看板：A4 版パウチ矢印、
看板等は最小限に留めますので各自自助努力し地図コンパスをご活用下さい。
当団体 HP に掲載された地図を参考にして、登山の場合と同様に自身で納得するまで詳細を調べご参加下さい。
- 32、お問合せ先：TEL：045-312-0538（平日 9:00～18:00、休：土日祝）
大会時本部：080-5418-8876
大会時計測班：080-9262-0914、trailrunner@docomo.ne.jp

〒220-8790 横浜中央郵便局私書箱 138 号、三浦半島縦断トレラン大会実行委員会事務局
E-mail：info@npo-outdoor.com URL：<http://www.npo-outdoor.com>

- 33、コースプロフィール：
いるか丘陵の主尾根・尾びれ部分に残る分水嶺、空から降った天水は分水嶺の東側は

東京湾に、西側は相模湾に流れ込みます。三浦海岸から山岳地帯の山野、森林を真北に駆け抜け、港南台に至るトレイルコースです。自然のままで一切手を入れていません、自然は日々変化します。木の根や枝、岩や倒木がトレイルを塞ぎ障害物となり、高低差は海拔 0m から標高 241m までアップダウンの繰り返し、山頂では富士山をはじめ 360 度の絶景を手に入れることができます。

34, 失格要件

- ① ゴミをレース中に放棄した選手
- ② 条件を偽って参加した選手
- ③ 歩行中の登山者に迷惑をかけた選手
- ④ 要項及び役員の指示に従わなかった選手
- ⑤ 規定の制限時間を超えて関門に到着した選手
- ⑥ 走行中ゼッケンを着用しなかった選手
- ⑦ 必要装備品を携帯しなかった選手
- ⑧ 自然保護に違反する行為があった選手
- ⑨ 不正行為があった選手
- ⑩ 役員から違反行為を通報された選手
- ⑪ 登山者から迷惑行為の通報された選手
- ⑫ スtock及びスパイク靴は禁止します。
- ⑬ 指定された「歩く区間」を走った選手。

※役員から失格（リタイア）を宣告された選手は「ゼッケン番号・氏名」を役員に通知し、「ゼッケン」を外し所定の「エスケープルート」を利用して下山すること。

35, 棄権：参加選手は競技中に体調その他の理由で競技を棄権（中断リタイア）する場合は必ず直接計測班 080-9262-0914、に連絡して下さい。

音声繋がらない場合はメールアドレス：trailrunner@docomo.ne.jp で、リタイア後は役員ないし本部のアドバイスに従い所定の場所へ安全確保のために複数（数人）で下山して下山後は公共交通機関等をご利用下さい。（リタイア後の着替え荷物等の受け取りはゴール地点、

36, 前回大会のコースと変更はありません。

- ① 大楠山への登りは1昨年までは大畑橋を迂回していましたが、今回は大畑橋を渡って大楠山へ登ります。

冬の日暮れはつるべ落とし、4時半頃には暗くなります。山中では何が起るか判りません（脚のけが・挫き・捻り）夜道に対する対策も十分に考慮して準備して下さい。

37, ゼッケン:大会2週間前に発送します。その時点で未着の場合には事務局へ連絡の事。

Aコース：当日は先ず着替えを済ませ、ゼッケンは胸によく見えるように着用、次に手荷物をトラックに積み込み、横の受付で「誓約書」渡し「SIカード」を受取る。手荷物が無い人も「誓約書」渡し「SIカード」を受取る。

Bコース：船越1丁目公園で着替え、ゼッケンは胸によく見えるように着用、次に手荷物をトラックに積み込み、横の受付で「誓約書」渡し「SIカード」を受取る。

38, 荷物：三浦海岸浜辺・琴音バス停脇駐車場に待機している車両にご自身で積み込む。荷物は4.5リットルのビニール袋（ゴミ袋）に入れ、内側にゼッケン番号と氏名を記入した紙を貼り（A4版でゼッケンをコピーし氏名を記入）誰が見ても判るようにする。注意事項 39-⑨参照 お預かりした荷物は所定のゴール地点まで運びます

39, 注意事項：

- ① ハイカー等への早めの声掛けと挨拶、横を通る時は充分間隔を開け声掛け、
- ② 55歳以上の方は必ず事前に健康診断をして下さい。
- ③ レース途中で天候が悪化した場合は主催者側で大会を中止することがあります。
- ④ レース中の事故については応急処置のみ行います、それ以上の責任は負いません。
- ⑤ 本部連絡先：080-5418-8876, 計測班 080-9262-0914
- ⑥ 競技続行が不可能と判断された選手は、役員が中止させる事があります。
- ⑦ 貴重品については各自管理して下さい。主催者側では責任を負いません。
- ⑧ 着替え等の荷物については下記の要領で対処して下さい。
- ⑨ 各自ビニール袋（通称ごみ袋）45Lに入れ、誰が見ても判るように自分のゼッケン

ン番号と名前を紙に書くか、ゼッケンをコピーして見えるように内側に張って下さい。自分で所定の車両まで積んでください。雨天でも濡れないように口は紐等で固く結く事、リタイアされた方の荷物も受取はゴール地点にお越し下さい。

- ⑩ 申込み後の種目変更、キャンセルは出来ません。
- ⑪ 年齢・性別の虚偽申告・申込み本人以外の出場（不正出走）等は認めません。
- ⑫ 地震風水害・降雪・事件・事故等の中止、過剰重複入金の返金はしません。
- ⑬ ゴール地点（六浦大道公園）から銭湯（亀遊館）までは徒歩12分、京急六浦駅までは徒歩10分、京急金沢八景駅までは徒歩20分です。
- ⑭ ゴミ等は各自で必ず持ち帰って下さい。違反者は失格とします。
- ⑮ 事故等で救護を必要とする競技者を発見した場合には競技を中断して救助するとともに本部に連絡のこと。次回大会参加に無償参加資格を提供します。
- ⑯ 当大会 A コースはトレイルラン中級者以上を想定しています。体調を考え不調の際は無理をせず本部又はコース役員に連絡最短ルートを利用して下山してください。
- ⑰ 冬季大会です、低体温症等の発症予防対策を十分に考慮した装備をして下さい。
- ⑱ 返金等が発生したときの送金手数料等は受領者の負担とします。

40, 添付同封の「トレイル（山道）使用規定」は自主規制且つ地元自然保護団体等との約束事項でもありますので遵守下さい。事後アンケート調査にご協力ください。

41, 大会出場中の映像・写真・記事・記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属します。

42, 後 援： 三浦市教育委員会、横須賀市教育委員会、横浜市市民局。

43, 協 賛： NET SHOP ” R & S ” 、

44, 大会申込に際し、参加者は申込規約に同意、誓約書に署名捺印の上お申込み頂きます。当大会に参加される方、全員に誓約書を提出して頂きます。ご家族・留守宅にはその旨お伝えください。山中での事故は平地と異なり対応が難しく場合によってはそれが命取りになる事があります。山中での活動の準備と対策をよく考慮し、各々が十分に自覚を持って参加の事